

科目名	レクリエーション演習 I						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2	前期			
担当者名	弘中 陽子	関連する資格	レクリエーション・インストラクター資格必修 公認障がい者指導員資格必修 保育士資格選択				
授業概要 レクリエーションの理論を踏まえたうえで、ホスピタリートレーニングやアイスブレーキング等の体験を通して、レクリエーション支援者としてより良いコミュニケーションを築くための方法について理解する。また、様々なアクティビティについて基本的な展開方法を体験的に学び、グループ活動を行う。							
到達目標 ○よりよいコミュニケーションを築くために必要な態度・行動を習得する。 ○グループ活動において相互作用を引き出し、活用する手法を理解する。 ○様々なアクティビティの体験を通して、アクティビティの楽しみを理解しグループで共有することができる。			成績評価方法 ・遊びのノート ・グループワーク ・授業態度・授業参加度 総合評価とする				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			40
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○	○	10
プレゼンテーション	○	○	○	○			30
グループワーク	○	○	○	○	○		20
演習							
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) オリエンテーション							
2) ホスピタリー・トレーニングについて①							
3) ホスピタリー・トレーニングについて②				グループワーク			

4) アイスブレーキング①	
5) アイスブレーキング②	グループワーク
6) アクティビティの展開方法① 目的に沿ったアクティビティの選択	
7) アクティビティの展開方法②	グループワーク
8) グループ活動における相互作用の活用方法①	
9) グループ活動における相互作用の活用方法②	グループワーク
10) 乳幼児に合わせたアクティビティの体験①	
11) 乳幼児に合わせたアクティビティの体験②	グループワーク
12) 児童・障がい児（者）に合わせたアクティビティの体験①	
13) 児童・障がい児（者）に合わせたアクティビティの体験②	グループワーク
14) 学びの発表①	プレゼンテーション
15) 学びの発表② 授業のまとめ・授業評価アンケート	プレゼンテーション
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> できるだけ様々な遊びやレクリエーション活動に興味を持ち、積極的に取り組んでみましょう。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> 資料配布 「レクリエーション支援の基礎 楽しさ・心地よさを活かす理論と技術」（日本レクリエーション協会）※レク・インストラクター資格取得希望者のみ 	<ul style="list-style-type: none"> レクリエーション概論 レクリエーション演習Ⅱ レクリエーション実習
備考	
<ul style="list-style-type: none"> 運動の出来る服装、室内シューズ、髪は束ねる等支援者としてのふさわしい身だしなみを各自心掛けてください。 遊びのノートを1冊作成します。詳細は、授業内で説明します。尚、このノートは評価対象です。 <p>【オフィスアワー】 弘中 陽子 hironaka@ube-c.ac.jp</p>	